

▼…赤穂高柔道部
Bの松本雄史さんが後輩に稽古し柔道選手として主要大会で活躍し、現在は兵庫県警の術科指導者として後進を育成する松本雄史さん(37)が母校の赤穂高校をこのほど訪れ、後輩部員たちをコーチした。

上郡中出身の松本さんは赤穂高3年時に全日本ジュニア73キ級で優勝。天理大に進んだ翌年に連覇した。社会人になってからは兵庫県警の特別訓練員として技を磨き、グラウンドスラム東京や講道館杯で3位に。体重無差別で日本一を争う全日本選手権で8強入りするなど活躍した。

この日は学校の依頼

を受けて同僚の橋本大悟さん(35)とともに来校し、男女6人の部員たちに技術指導。乱取りで胸を貸し、それぞれの部員の長所を引き出した。

同校によると、柔道部は創部90年以上の歴史があるが、近年は部員が減少。今年度の夏の総体を最後に休部が決まっている。「悔いの残らない試合をしてほしい」と松本さん。直接指導を受けた寺尾岨生主将(33)は「実践的な稽古をつけてもらってわくわくした。きょう教わったことを活かして優勝を目指してがんばりたい」と意気込んだ。(写真は母校の柔道部員に指導する松本雄史さん(右))

